

[



Mutsu General Hospital

むつ総合病院



研修医日記

作成者：黒瀧 奎吾（2年次）



Nikon Df Nikkor-S Auto 50mm F1.4 f/2.8 1/320s ISO-3200

キ-84 四式戦闘機「疾風」 知覧特攻平和会館にて

黒瀧です。最近冬休みを頂き、九州を巡ってきました。知覧→鹿屋→太刀洗と巡ってきたのですが、この3つの共通点といえば、旧日本軍の重要な基地があった土地であり、現存する零式艦上戦闘機が展示しているということです。

まず、知覧に行ったのですが、普段は館内写真撮影禁止ですが、四式戦闘機のエンジン修理のためそこだけ写真撮影OKとなっておりました。四式戦闘機のエンジンといえば、日本では数少ない2000馬力級のエンジン。映画「この世界の片隅に」で北条周作の父親が紫電改を見て「わしらが育てた2000馬力じゃ…」としみじみ言っていたエンジンと同じエンジンです（陸軍ではハ45、海軍では誉と呼称されていたみたいですが、同じエンジンらしいです）。映画「風立ちぬ」で空母鳳翔の艦上で一三式艦上攻撃機のエンジンが黒煙を上げ暴発し、「これが国産エンジンだ！」と言われていた時代から考えると、国産エンジンの進歩は目覚ましいものがあります。そのことを思い出し、自分も「これが2000馬力か…」と目頭が熱くなりました。特攻隊遺書と国産エンジンで何回も泣ける知覧特攻平和会館へ、皆様も機会があったら是非行ってみてください。

※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。